

地方公務員等のくらしと 生きがいなどに関する調査 —概要（その1）

はじめに

昨年、当協会は、全国の現役地方公務員とその退職者を対象に「地方公務員等のくらしと生きがいなどに関する調査」を4年ぶりに実施しました。

今回は、平成17年度調査のフォロー及びライフプラン等に関する新たなニーズを把握するために、「毎日の生活」「家族」「自分時間」「仕事」「再就職」「家庭経済設計」「健康づくり」などの各分野の調査項目をきめ細かく見直し、充実を図りました。

調査に際しましては、地方公共団体の担当者の方々並びに調査対象者の皆様からご協力をいただき誠にありがとうございました。

今回ご紹介した概要は、調査結果の一部であり、詳細については各地方公共団体等に配布しておりますので、ライフプラン事業の推進に役立てていただければ幸いです。

1 調査の概要

(1) 目的

地方公務員及びその退職者のくらしと生きがい等に関して、その実態及びライフプランに関する意識やニーズを把握し、地方公共団体等の今後のライフプラン事業の活用に資することを目的とする。

(2) 調査対象団体

全国461の地方公共団体 内訳：都道府県47、政令市18、市311、特別区23、町村62

(3) 調査対象者

- ・在職者は5,000名でその割合は30歳代：40歳代：50歳代＝1：1：1、退職者は5,000名
- ・男女比は2：1

(4) 調査方法

- ・各調査対象団体の福利厚生担当者が、対象の職員及び退職者を選定
- ・調査票を地方公共団体経由で対象者に送付し、郵送により回収

(5) 調査実施時期

平成21年9月～10月

(6) 回収結果

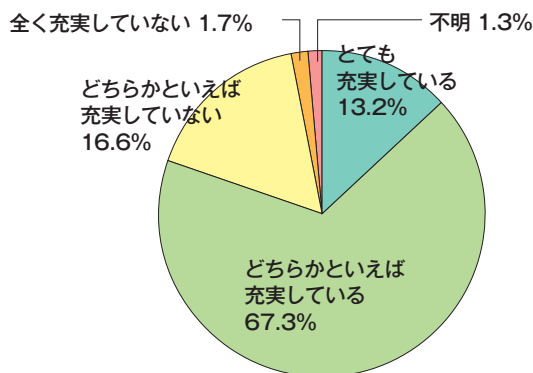
- ・在職者 有効回収率：58.9%
- ・退職者 有効回収率：47.0%

2 調査結果

今回は、「毎日の生活」「家族」「自分時間」の分野の中から主な項目について、在職者の意識を掲載しています。

毎日の生活の充実度

設問 「毎日の生活は充実していますか」

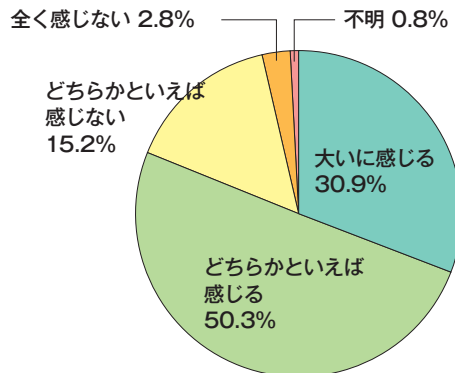


◎「充実している（計）」は8割

「とても充実している」と「どちらかといえば充実している」を合わせた「充実している（計）」は8割となっており、性別で見ると男性（78.4%）より、女性（84.8%）の方が高くなっています。

定年退職後の生活への不安

設問 「定年退職後の生活に不安を感じますか」



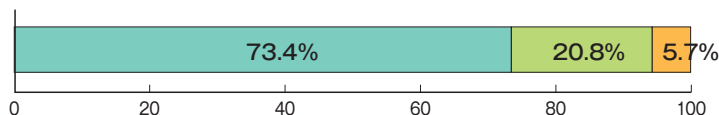
◎「感じる（計）」は8割

「大いに感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた「感じる（計）」は8割となっています。家庭の総貯蓄額別で見ると、「大いに感じる」では家庭の総貯蓄額が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がみられます。

家族とのコミュニケーションの状況

設問 「同居している家族とのコミュニケーションはいかがですか」

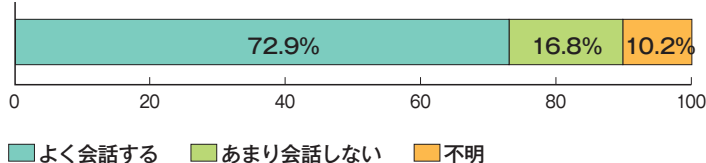
(1) 配偶者との会話（選択肢の「配偶者がいない（同居していない）」を除いて集計）



◎配偶者と「よく会話する」は7割強

配偶者との会話を性別で見ると、「よく会話する」は女性（64.9%）より男性（78.1%）の方が高くなっています。性別年齢別で見ると、「よく会話する」は男性35歳未満（82.2%）で高い一方、女性55歳以上（59.8%）で低くなっています。

(2) 子どもとの会話（選択肢の「子どもがいない（同居していない）」を除いて集計）

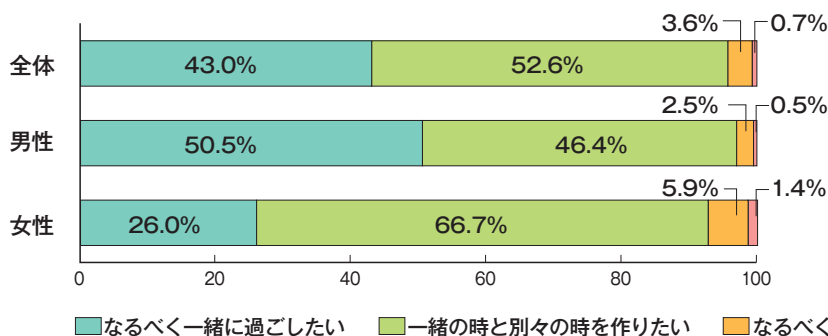


◎子どもと「よく会話する」は7割超

子どもとの会話を性別で見ると、「よく会話する」は男性（71.5%）より女性（77.4%）の方が高くなっています。性別年齢別で見ると、「よく会話する」は男性35歳以上40歳未満（87.8%）、女性45歳以上50歳未満（84.5%）でそれぞれ高くなっています。

定年後の夫婦の関係

設問 「定年後、夫婦の関係をどのようにしたいと思いますか」

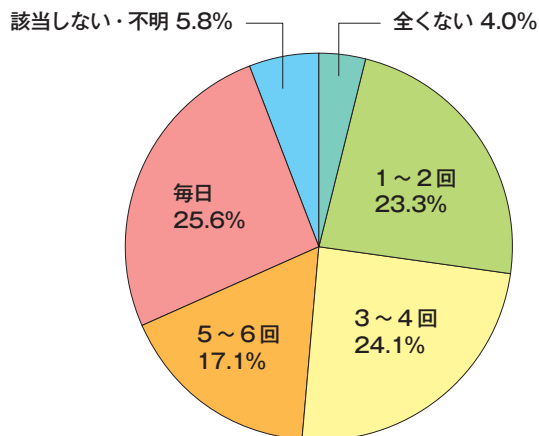


◎「一緒にの時と別々の時を作りたい」は5割超

性別による差が顕著に見られ、「なるべく一緒に過ごしたい」は男性（50.5%）で過半数に達していますが、女性（26.0%）では2割台半ばにとどまっています。

1週間に家族揃って夕食をとる回数

設問 「1週間に平均して何回ほど、家族揃って夕食をとられますか」

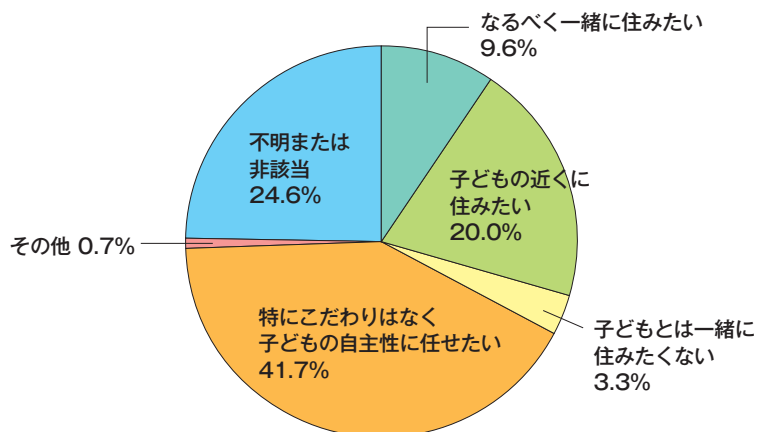


◎「1～2回」「3～4回」「毎日」がそれぞれ4人に1人

性別で見ると、男性は女性に比べて「毎日」「5～6回」の割合がやや高くなっています。また、「全くない」と「1～2回」の割合を見ると、男性では45歳以上50歳未満で、女性では35歳未満の年代が他の年代より高くなっています。

将来における子どもとの同居

設問 「将来、子どもと同居することについて、どのように考えますか」

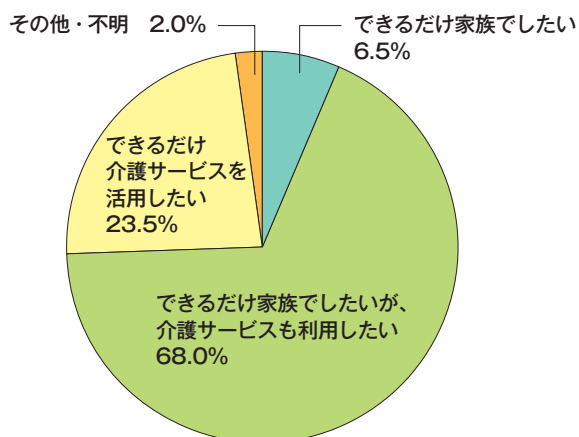


◎「なるべく一緒に住みたい」は1割弱

性別で見ると、男性は女性に比べて「なるべく一緒に住みたい」「特にこだわりはなく子どもの自主性に任せたい」の割合が高く、女性は男性に比べて「子どもの近くに住みたい」の割合が高くなっています。

親の介護について

設問 「現在、介護中か否かに拘わらず、自分の親や配偶者の親の介護についてどのように考えますか」

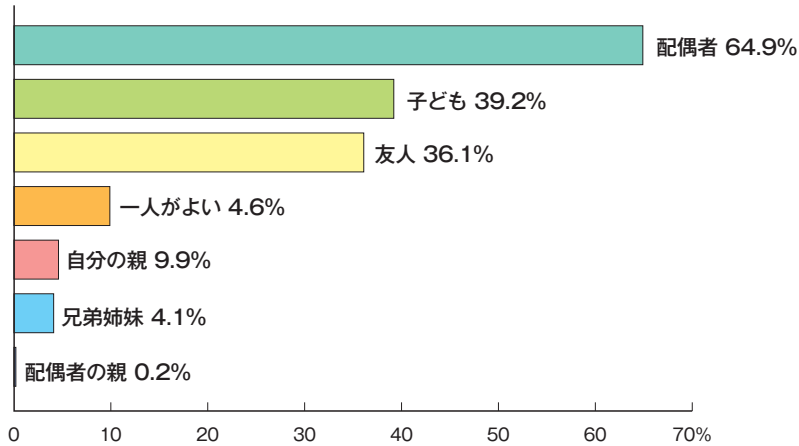


◎「できるだけ家族で
したいが、介護サービスも
利用したい」は7割弱

「できるだけ家族でしたい」を性別で見ると、女性(4.3%)より男性(7.7%)でやや高くなっています。「できるだけ介護サービスを活用したい」を居住市町村の人口規模別で見ると、100万人以上(32.0%)、東京23区(36.8%)で他に比べて高くなっています。

旅行に行きたい相手

設問 「今、旅行するなら誰と行きたいですか」(複数回答)

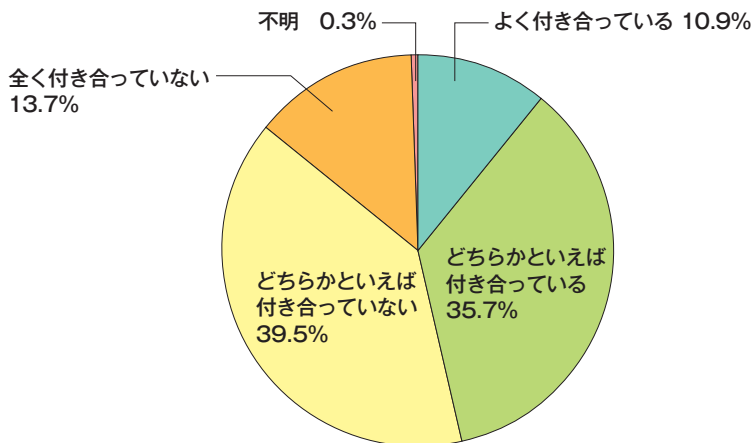


◎男性は「配偶者」女性は「友人」の割合が最も高い

性別年齢別で見ると、「配偶者」は女性(47.6%)より男性(74.2%)で高く、男性では年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。「友人」は男性(27.7%)より女性(51.5%)で高くなっています。性別による違いが顕著に見られます。

地域や近所付き合いの状況

設問 「地域や近所付き合いをどの程度していますか」

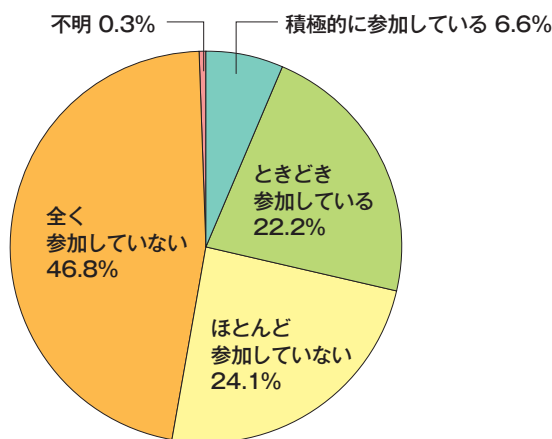


◎「付き合っている(計)」は5割弱

「よく付き合っている」と「どちらかといえば付き合っている」を合わせた「付き合っている(計)」は女性(38.2%)より男性(50.7%)で高く、男性では年代が上がるにつれて割合が高くなっています。居住市町村の人口規模別で見ると、1万人未満(68.2%)で高く、人口規模が大きくなるにつれて割合が低くなる傾向が見られます。

ボランティア(NPO活動を含む)の状況

設問 「ボランティア(NPO活動を含む)に参加していますか」



◎「参加している(計)」は3割弱

「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた「参加している(計)」は女性(21.0%)より男性(32.7%)で高く、居住市町村の人口規模別で見ると、1万人未満(40.9%)で高く、人口規模が大きくなるにつれて割合が低くなる傾向が見られます。

次回は、仕事・再就職・家庭経済設計・健康の分野から、主な項目を掲載する予定です。